

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

2024年 9月 30日

和泉市長 あて

団体名 桃山祭実行委員会

代表者名 山口 颯人

所在地 〒594-1198 和泉市まなび野 1-1
桃山学院大学 和泉キャンパス
カンタベリー館 2階
桃山祭実行委員会

電話番号 0725-92-7608

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	第65回桃山祭
申請コース	(1) 公益活動支援コース ☐ チャレンジコース ☐ ステップアップコース (2) 地域活性化コース ☒ 地域活性化コース
事業費総額	9,165,070 円 (うち、対象経費 6,598,000 円)
支援金 交付申請額	800,000 円

1. 添付資料
- (1) 団体概要調書（様式第2号）
 - (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
 - (3) 事業計画書（様式第3号）
 - (4) 収支予算書（様式第4号）
 - (5) その他市長が必要と認める書類

団 体 概 要 調 書

フリガナ	モモヤマサイジッコウイインカイ		
団体名	桃山祭実行委員会		
団体の目的	桃山学院大学の大学祭である「桃山祭」を実行し、学生間の交流をはじめ、学生と市民との交流や市民間の交流の場を設け、地域活性化に貢献することを目的とする。		
市内事務所の所在地	〒594-594-1198 和泉市まなび野1-1 桃山学院大学 和泉キャンパス カンタベリー館2階 桃山祭実行委員会室		
	【専用事務所】 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ）】		
電 話	0725（92）7608	FAX	（ ）
フリガナ	ヤマグチ ハヤト		
代表者氏名	山口 颯人		
連絡先	（連絡責任者氏名）※ （フリガナ）		電 話 0725（92）7608
※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方			FAX （ ）
	（住所）上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。		
設 立 年 月	年 月	主な活動地域	桃山学院大学内
会報等の発行	有（ 回発行） ・ 無	会員数	168 人
メールアドレス			
ホームページ	http://momosai-andrew.jp/		
主な事業内容	桃山学院大学構内にて、模擬店や展示、音楽ライブ、フリーマーケット等を行います。後夜祭では花火の打ち上げも行い、地域の方々の交流、活性化に努める。		
主な活動の実績	開催は2025年度で65回となり、毎年有志の学生メンバーで企画・運営を行っている。		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 （過去3年間の 実績を記載）	年度	名称	金額（円）

事業計画書

1 事業名	第65回桃山祭
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース ☐ チャレンジコース ☐ ステップアップコース (2) 地域活性化コース ☒ 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 夫婦のみの世帯や単独世帯が増加するとともに、高齢化により配偶者の死別や離婚が理由で单身となる人が増加するなかで、より地域社会と関わることができる機会の提供が不可欠となっている。 来年度に桃山学院大学と桃山学院教育大学が統合され（和泉キャンパスに新学部（人間教育学部）設置）、和泉キャンパスの在学生が増える。人間教育学部の学生が桃山学院教育大学として堺キャンパスで築いた大学祭運営のノウハウや地域とのつながりのノウハウを桃山祭に活かすことで、より広い地域住民の方々が交流できる場を提供することができる。例年参加して頂いている市民団体の方にも(出演・出展)の機会を設け、新たに設置される人間教育学部の学生とともに地域に根差した桃山祭を届けたいと考えている。	
② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 様々な世代が訪れる桃山祭で学生のみならず地域住民の方々においても桃山学院大学が繋がり場になること、訪れる市民の皆様と運営する私たち桃山祭実行委員会の双方にとって楽しい記憶となることを目標としている。	
4 事業内容（※別紙添付可）	
① 問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 学生が披露する近隣のこども園の園児を招いての演劇、市民の方々が楽しめるステージイベント、（本学各団体・アイドル・よさこい）、屋内ホールイベント（芸人・芸人）、模擬店の出店、フリーマーケットの出店、移動動物園など（一部市民の方々も出店・出演・協賛が可能）に参加していただく。最終日に行う花火は毎年恒例の企画となっており、多くの市民の方々に好評を得ている。桃山祭実行委員会の構成員は警備等を行い、安心安全な桃山祭を運営できるように取り組む。	
② 実施期間（日時）	令和7年11月中旬～下旬予定 開催日は3日間
③ 実施場所	桃山学院大学 和泉キャンパス
④ 主な対象者	桃山学院大学学生および卒業生大学周辺地区(はつが野、のぞみ野、内田町、緑ヶ丘)やその他全ての和泉市住民
⑤ 参加予定者数	3日間で延べ10,000人

⑥告知方法	ホームページ、公式 SNS（X、Instagram、YouTube）、 ビラ配布（大学周辺、泉北高速鉄道各駅（和泉中央―中百舌鳥間））、 ポスター掲示（周辺自治会館、泉北高速鉄道各駅（和泉中央―中百舌鳥））、近隣自治会の回覧板、新聞にチラシの折り込み、 各種広報誌への掲載
5 事業スケジュール	
次期（月）	内容
6月	活動メンバー結成、その年のテーマ決定、実施企画立案、企画書作成、近隣自治会へのご挨拶、予算案作成、大学関係所管との運営会議
7月	案内ビラ作成、ステージイベントや模擬店等の出演・出店依頼、協賛企業への依頼開始
8月	リハーサルの実施、模擬店等の出店・出演者との面談
9・10月	リハーサルの実施、各広報誌への掲載依頼、最終企画書（実施企画詳細の決定）の作成
11月	リハーサルの実施、各駅でのビラ配布・ポスター掲示依頼、模擬店等の出店者との最終確認、修正予算作成
12月	事前準備、桃山祭開催（開催期間中は毎日大学関係所管と運営会議）
	開催実績の集約とデータ化、次年度に向けての引継ぎ（大学関係所管との反省会を兼ねた会議）
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 （実施事業について、どのような点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）	
① 公益性	① 和泉市の中でも非常に大規模なイベントであり、市民の方々には来場者としてだけでなく、出店・出演・協賛という形で桃山祭に関わっていただいている。地域や年齢を問わず多くの市民に愛され、共感を得られる事業であると考え。 ② 桃山祭は多くの市民（久保惣美術館や近隣の学校に通う小中学生）に協力をいただき開催している。出展される市民団体が普段どのような活動を行っているのかを来場者に知っていただける事業であると考え。 ③ 地域のお祭りでは地域ごとの住民交流が主になるが、地域住民の皆様との関係を深めることで桃山祭ではさらに大きな規模での和泉市民間の交流も可能であり、交流が深まることで、出展していただける市民団体や地域そのものの活性化につながる。
② 継続性	④ コロナ渦で対面での開催が困難な中でも、オンラインでの開催をするなどの工夫を行い、継続的な開催を続けてきたことで地域に定着した祭である。

	⑤ 令和7年度で開催回数は65回目を迎える歴史のあるイベントであり、祭りを行うことで学生間だけでなく、市民間の交流を深める場となり、和泉市の活性化につながる事業であると考えます。 ⑥ 協賛専門のチームを作り、積極的に財源確保に努めている。
③実行性	⑦ 学生のみで事業が遂行されるのではなく、大学関係所管とも協働し、学生の理想だけで実施することではなく、実現可能な範囲で理想との差異をなくせるよう事業計画を練っている。 ⑧ 事業達成に向け活動チームを分け、週一回各チームの責任者と幹部が集まり、情報共有と課題解決のための会議を実施している。 ⑨ 自主財源や協賛金だけではさらなる住民・学生の交流の一層の推進を図れるように内容を充実させることが難しいため申請させていただいた。 ⑩ 例年 100 名前後の学生が主体的に活動しており、幹部学生による活動チームのスケジュール管理や情報管理を行うことで安定した活動環境にある。また定期的に構成員全体でリハーサルを行うことで士気の低下を防ぎ、開催に向けての意思統一が行われている。
④協働性	⑪ 多くの市民の方々に参加していただけるよう、様々な企画を用意している。また、来場者としてだけでなく出店(模擬店や製作体験ブース、フリーマーケット)・出演者(野外ステージイベント出演)としても参画いただける事業である。 ⑫ 複数のこども園や市民団体、近隣自治会等にご協力いただくことで、様々な方々の連携・交流のきっかけになると考える。 ⑬ ほぼ全ての企画に年齢制限がなく（一部子ども限定イベントあり）、世代、地域に関わらず交流・協力が図れるイベントであると考えます。
⑤公開性	⑭ 公式ホームページや SNS の利用、近隣自治会等への情報共有（ポスター掲示や回覧板）、和泉中央駅でのビラ配りなどを積極的に行い、大学近隣以外の市民にも参加して頂けるよう情報発信をしている。 ⑮ 3日間を通して様々な企画を用意しており、3日間どの日程に来場いただいても、満足していただけると思う。また、構内での休憩スペースの設置や建物内にはエレベーターもあり、誰でも、誰とでも楽しめる環境にて開催している。
⑥発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	⑯ 桃山祭は学生主体の行事だが、地域の方々をはじめとする多くの人に来場いただくことや、フリーマーケット等に出店いただくことで成り立つ祭りであるといえる。学生と市民の方々が作る地域密着型のお祭りは和泉市の魅力と誇りが詰まった祭りとなる。このことから、どんな方にも興味を持っていただける事業になると考えられる。 ⑰ 市民の皆様をはじめとする来場者の方々からのお声をもとに例年企画の増加を行っており、今後も地域の方々をはじめとする来場者により楽しんでいただける事業となると考えられる。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： 第65回桃山祭

1. 【収 入】 (単位：円)

項 目	金 額	積算根拠
支援金	800,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	5,167,000	大学等援助金
	1,346,000	協賛金（企業や自治会、近隣店舗等）
	212,000	チケット売上
	1,040,070	団体徴収金 (実行委員会が立替、後日出店団体から徴収)
自主財源	600,000	構成員徴収金
合 計	9,165,070	

2. 【支 出】 (単位：円)

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	3,531,790	講師出演料(講演会、メインゲストイベント)
旅費	65,000	交通費
消耗品費	195,700	コピー用紙、インク、掲示設置用のビス、ペンキ等、ノコギリ、ガス抜き
食糧費	6,000	イベント外部講師（1,000円×6名）
印刷製本費	180,000	パンフレット(B5サイズ・両面・カラーあり)・チラシ(A4サイズ・両面・カラーあり)印刷代
役務費	232,000	郵便代、振込手数料、保険料
委託料	1,890,000	アーチ門設置、花火打ち上げ、移動動物園、イベント物品組み立て・撤収費、HP更新料、ステージ設置、音響操作、チラシ折込配布
使用料及び賃借料	477,510	消火器、トランシーバー
原材料費	20,000	角材、ベニヤ板材（看板、アーチ門用）
旅費(対象外)	220,000	合宿棟宿泊代
消耗品費(対象外)	1,082,000	スタッフジャンパー、イベント景品代
食糧費(対象外)	225,000	構成員食事代（168名）
使用料及び賃借料 (対象外)	1,040,070	ガス、調理器、机、石膏ボード、発電機 (実行委員会が立替、後日出店団体から徴収)
合 計	9,165,070	
(対象経費)	6,598,000	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。